



# KOBELCO

第154期  
株主の皆様へ

平成18年4月1日～平成19年3月31日

 株式会社 神戸製鋼所

# Business Field

特殊合金他新材料(ターゲット材等)、  
各種材料の分析・解析、高圧ガス容器製造業、  
シリコンウエハーの再生研磨・販売、  
超電導製品、ICテストサービス、  
有料老人ホームの運営、総合商社

不動産開発・建設・分譲・  
仲介・リフォーム、  
不動産賃貸・  
ビルマネジメント、  
マンション管理

油圧ショベル、ミニショベル、  
ホイールローダ、  
クローラークレーン、  
ラフテレーンクレーン、  
作業船

各種プラント(製鉄・非鉄・ペレタイジング・石油化学等)、  
エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、土木工事、新交通システム、  
タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、  
各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、鉱山・砕石機械、各種環境プラント、  
資源再生・土壌浄化、冷却塔、各種内燃機関、重電機器、搬送機器

普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼、  
厚板、中板、薄板(熱延・冷延・表面処理)、  
鍛造鋼品、チタンおよびチタン合金、鉄粉および粉末製品、  
鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、  
各種特殊鋼製品、各種鋼線、  
各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス、  
溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、  
溶接関連試験・分析・コンサルティング業

電力卸供給

【電子材料・  
その他の事業】

【鉄鋼関連事業】

【不動産関連事業】

【電力卸供給事業】

「オンリーワン製品」の  
創出に向けて

【建設機械関連事業】

【アルミ・銅関連事業】

【機械関連事業】

飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、  
自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、  
磁気ディスク用アルミ基板、アルミ箔、  
半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、  
リードフレーム、空調用銅管、復水管、  
アルミニウム合金およびマグネシウム合金鍛造品、  
アルミ加工品

## CONTENTS

Business Field .....	1	トピックス .....	7	ラグビーを通じての活動 .....	12
ごあいさつ .....	2	CSR・環境経営 .....	9	Corporate Data .....	13
業績のご報告 .....	3				

## 全てのステークホルダーから、より信頼されることを目指す企業文化を築いてまいります

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

当社グループは、平成18年4月に、平成20年度を最終年次とする3か年の「2006-2008年度グループ中期経営計画」を策定し、当社の企業価値および株主共同の利益の最大化に資するべく、これに取り組んでおります。

平成18年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日)の連結業績は、売上高は前期に比べ2,429億円増収の1兆9,102億円となりましたが、営業利益は、増収に伴う利益増はあるものの、総平均法による在庫評価に伴う収益押し上げ効果が前期に比べて減少したこと、当期に実施した機械装置の減価償却方法の変更によって償却負担が増加したことなどにより、前期に比べ117億円減益の2,086億円となりました。一方、経常利益は、63億円増益の1,832億円となりました。また、税引き後の当期純利益は、1,096億円となり、経常利益および当期純利益につきましては、過去最高益を更新いたしました。

当期の期末配当につきましては、継続的かつ安定的な実施を基本としつつ、当期の利益水準、配当性向、将来の成長のために必要な投資資金、財務状況などを総合的に勘案し、1株につき4円とさせていただきます。これにより、当期の配当は、中間配当と合わせて、前期に比べ1株につき1円増配の7円となります。

今後の見通しにつきましては、国内の設備投資や個人消費など民間需要が引き続き増加すると見込まれるなど、景気は引き続き緩やかな拡大が続くものと予想されますが、米国経済の動向や中国での鋼材生産の更なる拡大による汎用品市況の軟化など、懸念される要素もあり、必ずしも楽観できる状況ではありません。

このような状況のなか、当社グループは、「グループ中期経営計画」を着実に実行し、時代の流れをとらえ、「オンリーワン製品」を拡充し、財務体質の改善を進め、事業競争力に磨きをかけ、持続的に事業基盤

強化を進めてまいります。また、これらに加え、コンプライアンスをはじめとした内部統制システムの確立・実践や環境保全といったテーマについても一丸となって取り組み、企業価値の向上を目指してまいります。

「神戸製鋼グループ企業理念」は「信頼」という言葉から始まっております。当社グループは、株主・投資家、取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様からの評価や信頼こそが、企業価値向上の基盤に他ならないと考えております。全てのステークホルダーから、より信頼されることを目指す、そうした企業文化を築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



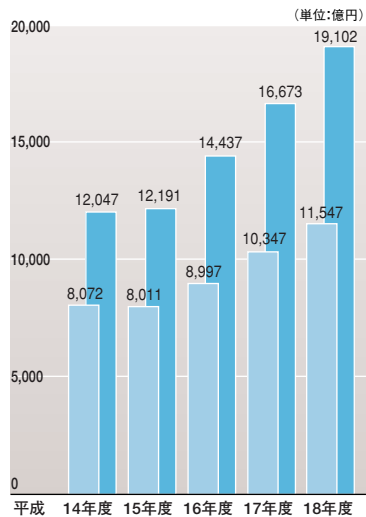
代表取締役社長

犬伏 恭夫

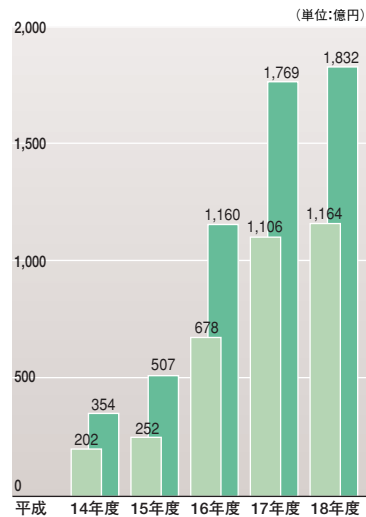
# Financial Report 業績のご報告

## 財務ハイライト

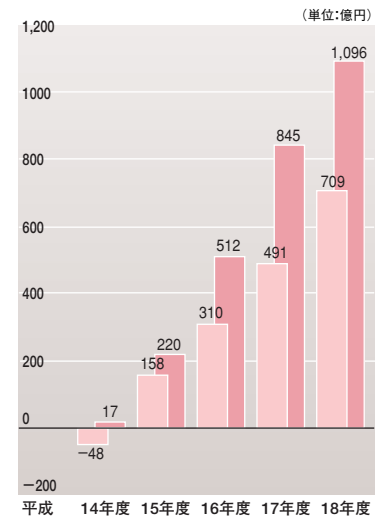
売上高



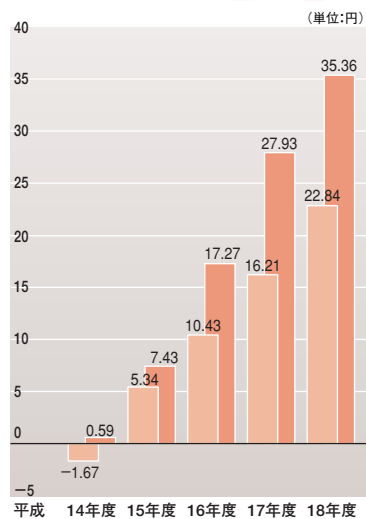
経常利益



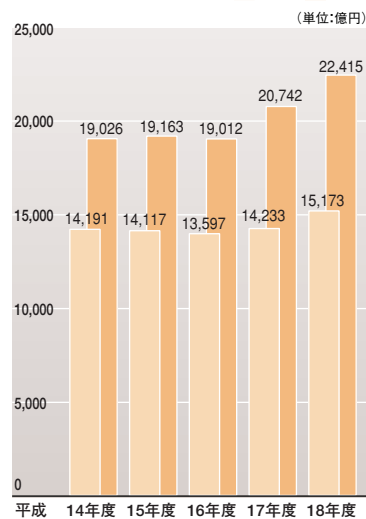
当期純利益



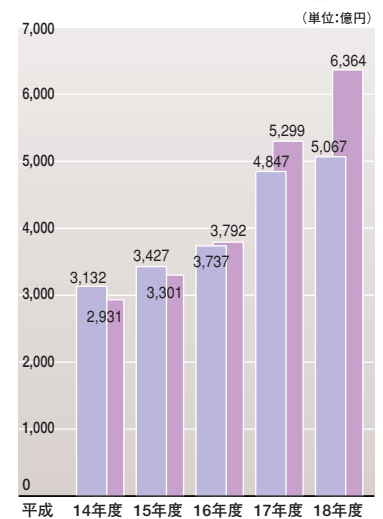
1株当たり当期純利益



総資産



純資産



## 当期の概況

当期のわが国経済は、企業収益が高水準で推移する中、民間設備投資が増加したほか、雇用者所得も緩やかに増加を続け、個人消費も底堅く推移するなど、景気は緩やかに拡大いたしました。海外においても、中国を始めとするアジアを中心として、世界的に経済は拡大いたしました。

当期の連結業績は、売上高は前期に比べ2,429億円増収の1兆9,102億円となりましたが、営業利益は、総平均法による在庫評価に伴う収益押し上げ効果が減少したこと、機械装置の減価償却方法の変更によって償却負担が増加したことなどにより、117億円減益の2,086億円となりました。一方、経常利益は、持分法適用会社の収益改善などにより営業外損益が好転したことから、63億円増益の1,832億円となりました。また、税引き後の当期純利益は、固定資産の減損損失、環境対策費用を特別損失として計上したことなどから1,096億円となりました。

単独業績につきましては、売上高は前期に比べ1,199億円増収の1兆1,547億円、営業利益は225億円減益の1,198億円、経常利益は受取配当金の増加などにより58億円増益の1,164億円となりました。また、税引き後の当期純利益は709億円となりました。

## 鉄鋼関連事業

国内の鋼材需要は、自動車・造船などの製造業向けを中心に、好調に推移しました。また、汎用品の需給軟化を受けて積み上がっていた国内在庫も、順調に削減が進みました。輸出についても、高級鋼分野が好調を持続したことに加えて、汎用品分野についても世界的な需要拡大を背景に堅調に推移しました。このような状況の中、当社は、製造業向けの高級鋼を中心に、旺盛な需要の確実な取り込みに努めたことにより、鋼材出荷数量は前期を上回り、また、販売価格についても、値上げが一部進展したことなどから、若干上昇しました。鋳鍛鋼品については造船分野向け、

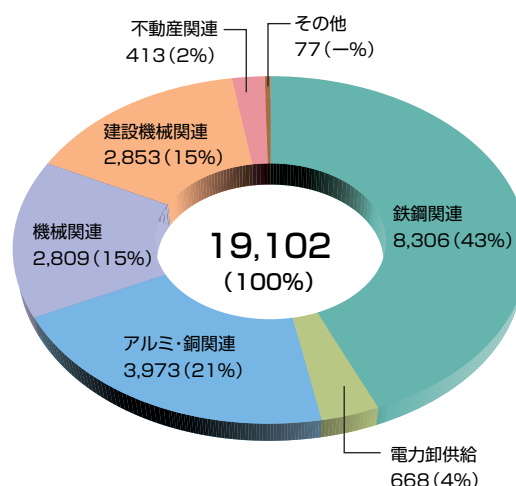
チタン製品については航空機分野向けなどを中心とした旺盛な需要を背景に、売上高は前期を上回りました。

溶接材料の需要については、国内は造船、自動車向けを中心に好調を維持し、海外についても造船、エネルギー関連プロジェクト向けなどを中心に堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前期比10%増の8,306億円となりました。一方、営業利益は、前期に収益を大きく押し上げた在庫評価影響が減少したことや、減価償却方法の変更の影響、加えて、環境保全工事に積極的に取り組んだ影響もあり、前期に比べ363億円減益の945億円となりました。

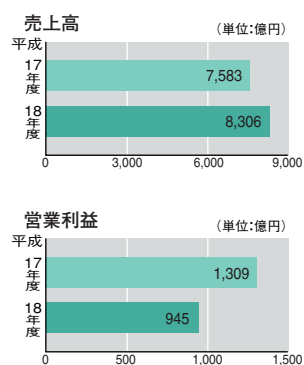
■今後の課題…鋼材分野において、製造業向け高級鋼の拡販に引き続き努めるとともに、鋳鍛鋼、チタンの分野では需要拡大への対応を図ります。また、高炉改修など実施中の設備投資案件を確実に立ち上げ、その投資効果を早期に最大限発揮することにより、製造技術を強化し、省エネルギー・コストダウンを進めるとともに、安定した生産体制の構築、環境配慮への一層の取り組みを実施いたします。加えて、中長期的な観点から、原料の安定調達の確保、技能継承の円滑な推進など、事業基盤の強化に着実に取り組んでまいります。

■セグメント別売上高(平成18年度) (単位:億円)



(注) その他には「電子材料・その他の事業」とセグメント間の内部売上高等の消去額が含まれております。

### ●鉄鋼関連事業



自動車用弁ばね

## 電力卸供給事業

現在、神鋼神戸発電所では、最大出力140万キロワットの電力を供給しております。当事業の売上高は、電力単価に転嫁される石炭価格の上昇により、前期比3%増の668億円となり、営業利益は、安定操業の

ための設備保全費用増加などにより、前期に比べ15億円減益の180億円となりました。

■今後の課題…設備保全の更なる強化や操業技術の蓄積を図り、安定操業の継続と収益の確保に努めてまいります。



神鋼神戸発電所

## アルミ・銅関連事業

アルミ圧延品の販売量は、飲料用缶材は天候不順の影響により減少したものの、国内、輸出とも自動車向けや、半導体製造装置向け板材、アルミディスク材などが堅調に推移したことから、前期並みとなりました。

銅圧延品の販売量は、板条が自動車用電装部品向けを中心に電子材料分野において引き続き堅調に推移したことや、銅管が海外を中心に増加したことなどから、前期を上回りました。

アルミ鋳鍛造品については、液晶向けが調整局面にあるものの、自動車向けの売上数量、売上高ともに好調に推移しました。

全体としての販売量は前期並みとなったものの、地金価格高騰の影響等により売上高は前期比30%増の3,973億円、営業利益は、113億円増益の346億円となりました。

■今後の課題…今後も拡大が見込まれる自動車・IT関連分野を重点分野と位置づけ、経営資源を積極的に

投入してまいります。また、地金価格の高止まりによるコストアップに対し、販売価格の改善に努めるとともに、既存設備の能力増強などを実施し、品質と生産性の向上に取り組んでまいります。



アルミ鍛造サスペンション部品

## 機械関連事業

国内向け受注高は、好調な民間設備投資を背景に、圧縮機、圧延機械などが堅調に推移したことや、廃棄物処理および污泥処理の大型案件を受注したことなどにより、前期を上回りました。また、海外向け受注高も、中東やアジア、北米での石油精製、石油化学、エネルギー業界における活発な設備投資を背景に、圧縮機や樹脂機械、石油精製用の高圧容器などが好調に推移したことや、大型の天然ガススペースの直接還元

製鉄プラントを受注したことなどから、前期を上回りました。

この結果、受注高は、前期比29%増の3,086億円、当期末の受注残高は3,061億円となりました。

また、売上高は、前期比8%増の2,809億円となり、営業利益は前期に比べ117億円増益の221億円となりました。

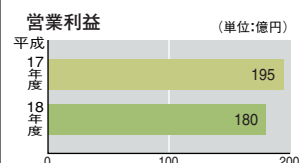
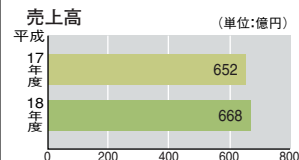
■今後の課題…機械関連事業では、好調な需要環境を収益に確実につなげるべく、基盤設備の増強による、

生産能力の確保、品質向上やコストダウンに取り組んでまいります。また、直接還元製鉄プラントや次世代製鉄法などの新鉄源ビジネスへの取り組みを一層強化し、収益源としての育成に努めてまいります。

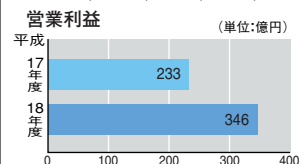
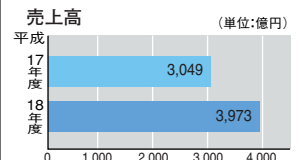


高圧スクリュ

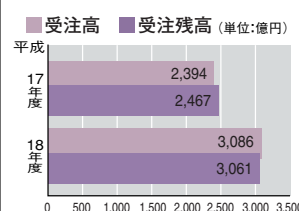
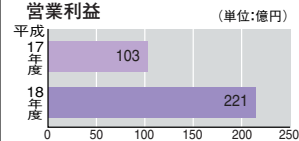
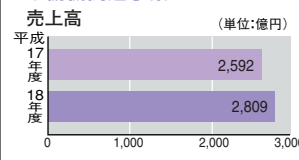
### ●電力卸供給事業



### ●アルミ・銅関連事業



### ●機械関連事業



## 建設機械関連事業

油圧ショベルの国内市場は、公共工事が引き続き減少傾向にあるものの、堅調な民間投資や中国など海外市場への中古車輸出による国内ストック台数の減少などを背景とした更新需要に支えられて、好調に推移しました。海外についても、米国市場に減速感がみられるものの、中国市場が急速に回復・拡大したことなどから、総じて好調に推移しました。また、クレーン事業についても中東や東南アジアを中心に好調に推移

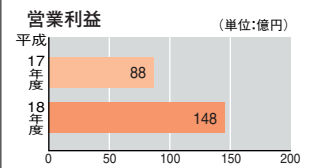
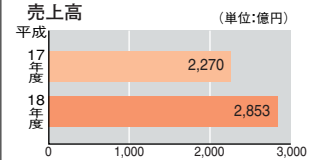
したことから、売上高は前期比26%増の2,853億円となり、営業利益は前期に比べ59億円増益の148億円となりました。

■今後の課題…建設機械関連事業では、好調な需要環境が継続する中、海外展開を強化し、販売台数の更なる拡大を目指すとともに、事業環境の変化に対する適応力の強化を図るべく、事業基盤強化策を推進してまいります。



油圧ショベル (アセラ・ジオバック) SK200

### ●建設機械関連事業



## 不動産関連事業

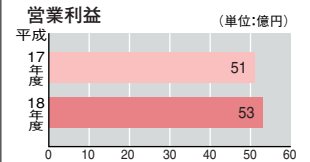
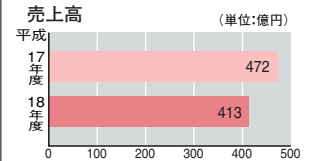
分譲マンションの引渡し戸数が減少したことなどから、売上高は前期比12%減の413億円となりましたが、営業利益は、コストの改善などにより前期に比べ若干増益の53億円となりました。

■今後の課題…不動産事業部では、開発用地の計画的な取得と事業競争力強化に向けた施策を推進します。賃貸・ビルマネジメント事業等では、優良賃貸資産の拡充、最大受注量の確保による事業規模の拡大を推進してまいります。



(仮称) 淀屋橋共同ビル

### ●不動産関連事業



## 電子材料・その他の事業

液晶ディスプレイの在庫調整の影響ならびに代替素材との競合によって、配線膜用ターゲット材の販売量が減退したものの、エレクトロニクス関連を中心とした試験分析需要を着実に取り込んだことなどから、売上高は前期比4%増の635億円となりました。営業利益は、配線膜用ターゲット材の需要減退の影響もあり前期に比べ

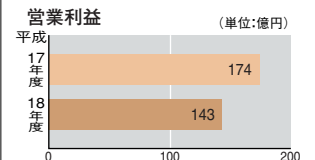
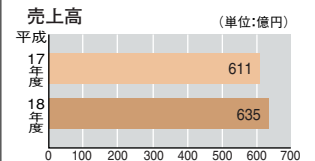
31億円減益の143億円となりました。

■今後の課題…液晶ディスプレイ用ターゲット材における代替素材との競争激化に対し、新製品の早期実用化を推進するとともに、生産性の向上やコストダウンなどを着実に実行することにより、収益の確保を図ってまいります。



ターゲット材

### ●電子材料・その他の事業



# Topics トピックス

■ 鉄鋼関連事業

■ 電力卸供給事業

■ 建設機械関連事業

■ 不動産関連事業

2006 [平成18年]

4月

機械関連事業

## 日本初「溶剤分離法による塩ビ再原料化工場」が稼働

[神鋼環境ソリューション]

国内初の溶剤分離法によるマテリアルリサイクル施設である株式会社コベルコ・ビニループ・イーストの塩ビ再原料化工場(千葉工場)が昨年4月より稼働しています。同工場では、すべての塩ビ系廃棄物の処理が可能です。農業用ビニールシート、電線被覆材を中心に処理しており、将来的には、壁紙、塩ビ管・継ぎ手、テント材などにも広がっていく計画です。また、この事業は、持続可能な循環型社会の構築に貢献する事業として、環境省および千葉県からエコタウン補助金が交付されています。



塩ビ再原料化工場(千葉)

6月

■ 「都市型」「高級」介護マンション、「エレガノー甲南」がオープン [神鋼ケアライフ]

■ 中国上海市に溶接材料の営業拠点を設置 [溶接カンパニー]

鉄鋼関連事業

## 中国広東省佛山市の自動車用特殊鋼線材加工拠点「神鋼線材加工(佛山)有限公司」が本格稼働

中国・広州地区は、日本の三大自動車メーカーが集結し今や中国最大の日系自動車生産基地となっています。この日系自動車産業の発展に貢献するために設立した特殊鋼線材の二次加工製品の製造・販売拠点「神鋼線材加工(佛山)有限公司:KOBELCO WIRE PRODUCTS (FOSHAN) CO., LTD」が昨年6月より量産体制に入りました。同拠点では、自動車の重要保安部品である「磨き棒鋼」と「冷間圧造用ワイヤー」を、製造・販売し柔軟且つ効率的な線材製品の供給体制を構築し、ユーザーサービスの向上に努めていきます。



神鋼線材加工(佛山)有限公司

■ 国内の建設機械業界で初めて油圧ショベルの「排ガス新法」届出受理 [コベルコ建機]

8月

■ 世界初シックハウス症候群の軽減に効果的な塗装鋼板「コウベプレコート エアブリーズ」を開発・商品化

10月

■ 業界最高のエネルギー効率を誇る空冷ヒートポンプチラー「ハイエフヒーボン」を開発、販売開始

不動産関連事業

## 「摩耶シーサイドプレイス」が、住宅金融公庫総裁団地表彰、第18回住宅月間功労者賞を受賞 [神鋼不動産]

このたび、住意識、住環境の向上・改善やゆとりある住生活の実現等に特に顕著な功績があった団体に贈られる住宅金融公庫「総裁団地賞」と、国土交通省の住宅月間功労者表彰「国土交通大臣表彰」を受賞いたしました。「摩耶シーサイドプレイス」は、神戸市東部新都心・HAT神戸における大規模な分譲マンション事業です。



摩耶シーサイドプレイス



11月

建設機械関連事業

**排ガス規制適合型クローラクレーンを開発、発売開始** [コベルコクレーン]

環境保全のために新たに制定された「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)」に適合した全油圧式クローラクレーン『マスターテックシリーズ Fバージョン』および基礎土木工事対応クローラクレーン『BMシリーズ Fバージョン』全7機種の販売を昨年11月より開始しました。新製品は、全世界の地域特性に適合できるモジュール化の思想に基づいて開発したベースマシンに、オフロード法に適合したエンジンを搭載し、排ガス・低騒音化など環境のニーズに対応したグローバル製品です。



マスターテック 7090 Fバージョン

12月

鉄鋼関連事業

**世界最高レベルの加工性を実現した自動車用溶融亜鉛めっきハイテンを開発、商品化**

新ハイテン(高張力鋼板)は、従来品を凌駕する高加工性を備えており、日本国内外の大手自動車メーカー各社から高い評価をうけ、2007年度以降より量産を開始する車種への新規採用が決定しています。加古川製鉄所で製造し、冷延原板製品として最大板厚3.2mmまでのサイズが製造可能で、適用用途はさらに広がる見込みです。

2007

[平成19年]

1月

アルミ・銅関連事業

**アルミ電磁成形ステイを組み込んだ「アルミバンパーシステム」が日産自動車「スカイライン」に採用**

自動車の軽量化や安全性向上のニーズに対応し、当社が世界で初めて開発量産化したアルミ電磁成形ステイは、従来の鉄製ステイに比べ約1.3kg/セット程度の軽量化を実現した製品です。アルミ電磁成形ステイを組み込んだ「アルミバンパーシステム」の実用化は今回が世界初であり、今後は、日産自動車株式会社他車種や他自動車メーカーでの適用拡大、拡販に注力してまいります。

■「唐山開元自動溶接装備有限公司」と、中国における「溶接ロボットシステムの製造、販売、メンテナンス」全般に渡る業務提携契約を新たに締結 [溶接カンパニー]

■「コベルコ コンストラクション イクイップメント インディア」が業務を開始、インドにおける建設機械市場に本格参入 [コベルコ建機]



アルミ電磁成形ステイ

3月

電子材料・その他の事業

**「スプレイフォーミング法」による独自のアルミ合金製造技術で世界最高強度を達成**

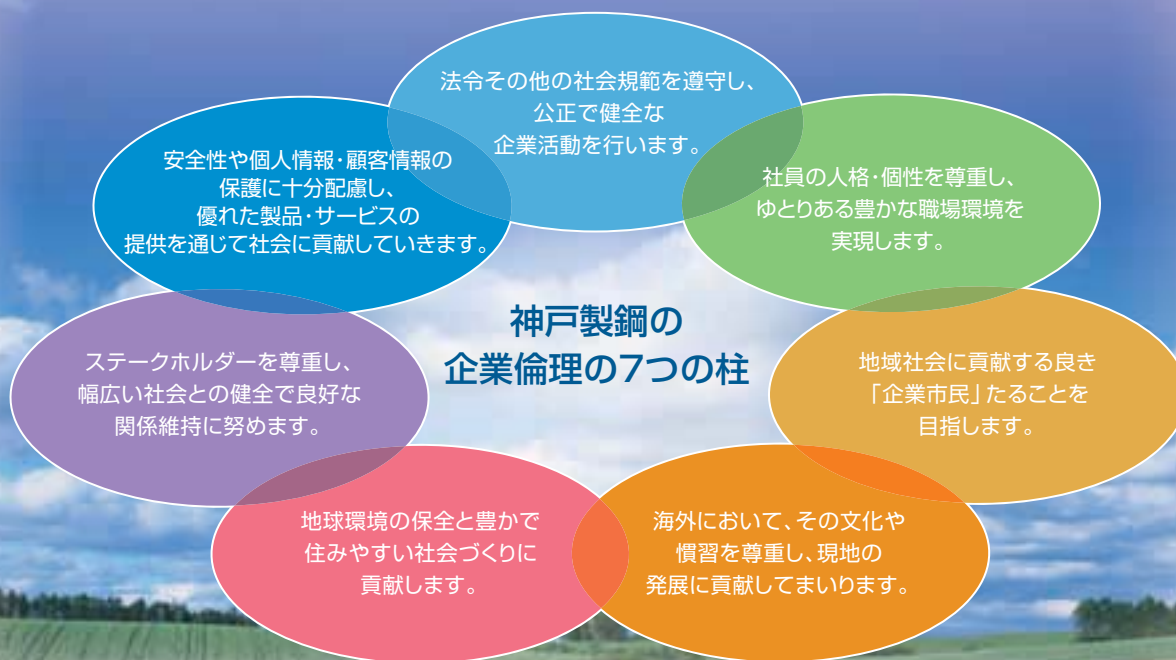
実用化されているアルミ合金で最も強度・加工性に優れているウェルダライト合金(スペースシャトル外部燃料タンクに使用)に比べ、引張強度を約1割アップ、加工性を3倍近く向上させたアルミ合金の製造に成功しました。現在は試作品が得られた段階ですが、今後は量産製造技術を確認し、08年度を目標に特殊車両や航空・宇宙機器などに使用される高付加価値部材での実用化を目指します。



スプレイフォーミング中のプリフォーム

## CSR・環境経営

急速なグローバル化、世界的な規模での経営の統合・再編、地球環境への関心の高まりなどにより、企業を取り巻く環境や意識は大きく変化しています。こうした中で、当社グループは、コンプライアンスの強化や環境保全活動をはじめ、ステークホルダーの皆様への対応につきまして、企業としての社会的責任を果たすべく、さまざまな活動を行っています。



### コンプライアンス体制の充実への取組み

企業倫理綱領を制定するほか、取締役会の諮問機関として、社外委員5名、社内委員4名によって構成されるコンプライアンス委員会がコンプライアンス推進計画の立案や進捗状況の確認、「内部通報システム」への通報事案に関する審議などを行っています。また、社員へのコンプライアンス教育の実施などにも取り組んでいます。



コンプライアンス・トップセミナー

## 環境管理への取組み

本社と事業所が連携して環境管理の向上を図るため、本社環境管理部門による各事業所の環境管理状況の調査を実施しています。また、従来の書面監査に加え、社外コンサルタントの参画を得て、環境防災部と監査部が事業所の現地監査を行い、法令遵守状況等についての監査を実施しています。

## 環境に配慮したものづくりへの取組み

**地球温暖化対策** 業界ごとの自主行動計画達成に向けて、省エネルギー対策の推進等に取り組んでいます。鉄鋼部門の2006年度のCO<sub>2</sub>排出量は1990年度に比べて3.3%削減しました。

**循環型社会構築** 2008年度に埋め立て処分量の比率を2004年度比で20%削減することを目標に、廃棄物の削減に取り組んでいます。2006年度の神戸製鋼グループの最終処分量は約22万トン、リサイクル率は95.2%でした。

**有害物質削減** PRTR届出対象物質の移動量の削減に向けて、グループ全体で集計、情報共有を実施するなど、有害化学物質の適正管理体制の確立に向けて取り組んでいます。アスベスト設備については、台帳管理と表示を実施し、国の指針に基づき適正処理する取り組みを開始しています。

**環境負荷の低減** 各種汚染防止施設の機能強化等により生産活動における環境負荷低減に取り組んでいます。加古川製鉄所では、発じん箇所の密閉強化、防じんネットの設置、道路散水の強化等を実施しています。

## 環境情報の公開への取組み

加古川製鉄所では、加古川市役所、播磨町役場、浜の宮、別府の地元町内会の公民館にモニターを設置し、製鉄所全体のばい煙排出量(SO<sub>x</sub>,NO<sub>x</sub>の時間排出量)等の環境情報をリアルタイムで公開しています。神戸製鉄所においても、灘浜サイエンススクエアと灘浜ガーデンパークの既に設置されているモニターに、同様の環境データを掲載しています。

また、加古川製鉄所、神戸製鉄所の環境実績データ(所全体のばい煙時間排出量、ばい煙発生施設のばい煙排出濃度等の月間平均値、月間最大値等)をホームページに月単位で掲載しています。



加古川製鉄所北側の防じんネット



製鉄所における環境関連情報のページ

### 製品・技術・サービスにおける環境への取組み

これまで蓄積した生産技術、エンジニアリング技術とシステム、ノウハウを複合し、環境配慮型素材・製品を提供してきました。また、エネルギーの効率的利用、廃棄物のリサイクル、未利用資源の活用、環境修復などの分野においても、各種機器・プラント・サービスの提供をしております。

#### 2006年度の主な環境配慮型 製品・技術・サービス

- 業界最高のエネルギー効率を誇る空冷ヒートポンプチラー「ハイエフヒーボン」を開発・発売
  - 日本初の溶剤分離法による塩ビ再原料化工場の稼働
  - 排ガス規制適合型の建設機械の発売
- ※当社グループの環境配慮型製品・技術・サービスについては、ホームページの環境ビジネスガイドにも掲載しています。 <http://www.kobelco.co.jp/ecobiz/index.html>



ハイエフヒーボン

### コベルコ地域社会貢献基金制度について

神戸製鋼では、創立100周年記念事業の一環として、2006年6月に「コベルコ地域社会貢献基金制度」を設立しました。

次代を担う「子供たち」を対象に、「社会福祉」を中心とした分野において、神戸製鋼の事業所・研究所が立地する神戸市、加古川市、高砂市、茨木市、東広島市、藤沢市、下関市、いなべ市、真岡市の9市において、2006年度は支援をいたしました。

具体的には、①児童養護施設、障害者福祉施設、②子育て支援施設・保育所・児童館、③子供自らが地域貢献活動を行う団体、④ドメスティックバイオレンスの被害者を支援する団体、⑤子供向け芸術・文化教育活動をする団体への支援を実施いたしました。

## ラグビーを通じての活動

### 全国高校ラグビー大会に特別協賛

神戸製鋼グループは「第86回全国高校ラグビー大会」を特別協賛いたしました。神戸製鋼グループはこれからも、全国高校ラグビー大会を応援してまいります。

### 特定非営利活動法人「日本せきずい基金」への募金

2001年度より試合会場にて、特定非営利活動法人「日本せきずい基金」への募金活動を行ってまいりました。2006年8月21日には、2005-2006年度シーズンに集まった寄付金を東京都障害者福祉会館にて贈呈いたしました。

2006-2007年度シーズンで集まった寄付金に関しましては、本年夏に贈呈する予定です。



東京都障害者福祉会館で行われた贈呈式

### ラグビーの普及活動

ラグビー普及活動の一貫として、コベルコスティーラーズの選手が小学生・中学生・高校生を対象にラグビースクールを訪問し、指導いたしました。

またラグビー体験教室を通じて未経験者の親子にもラグビーの楽しさを体験していただきました。



大阪府枚方市で行われたラグビースクールの様子

日付	場所	対象者
6 / 3	三重県鈴鹿市	地元の小・中学生
6 / 11	四国中央市	四国4県のラグビースクール生徒600人
6 / 18	大阪府枚方市	小・中学生
6 / 25	千葉県佐倉市	中学生ラグビースクール
7 / 9	滋賀県近江八幡市	滋賀県高校選抜
7 / 23	北海道夕張市	ユースメンバー
8 / 27	神戸灘浜グラウンド	三重県高校選抜
10 / 22	兵庫県神戸市	初心者教室で親子
10 / 28	和歌山県和歌山市	地元の子供達
10 / 29	兵庫県加古川市	地元ラグビースクール生
その他	多数の普及活動を行っております	

### KOBELCO ジャパンユースラグビー ドリームトーナメント2006開催

2005年度に引き続き北海道夕張市で「KOBELCOジャパンユースラグビードリームトーナメント」を開催いたしました。本大会は、選抜された17歳以下代表選手による試合や、部員不足の学校が合同で構成する18歳以下選抜チームを編成し、ラグビーの普及活動の一貫として開催いたしました。

### コベルコスティーラーズふれあいフェスタ

8月27日に阪神大震災チャリティーとして、コベルコスティーラーズの選手が参加し、そごう神戸店でイベントを行いました。恒例のチャリティーオークションで集まった収益金は、「あしなが育英会」に寄付いたしました。

### SCIX (特定非営利活動法人、スポーツ・コミュニティー・ アンド・インテリジェンス機構) の活動

神戸製鋼はNPO法人であるSCIXの活動を支援しています。

SCIXは平尾誠二氏を理事長とし「スポーツを通じたコミュニティーづくり」「スポーツを通じて身につく知の普及」などを目的として下記の活動を推進しています。

- SCIXラグビークラブ
- 学校体育授業でのスペースボール指導
- スポーツインテリジェンス講座
- フットボールコーチングセミナー

これらの活動を継続的に実行することで、地域社会へ貢献していきます。

(詳しくは下記のHPをご覧ください。)

[KOBELCO STEELERS] <http://www.kobesteelrfc.com>

[SCIX] <http://www.scix.org>



SCIX ラグビークラブ

## Corporate Data

### 連結子会社および関連会社 [215社]

(平成19年3月31日現在)

#### ■鉄鋼関連事業:61社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、  
神鋼建材工業株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、  
株式会社テザックワイヤロープ、堺鋼板工業株式会社、  
株式会社神鋼エンジニアリング&メンテナンス、神鋼総合サービス株式会社、  
KOBエウエルディングワイヤ株式会社、エヌアイウエル株式会社、  
住友チタニウム株式会社、神鋼鋼線工業株式会社、関西熱化学株式会社 他

#### ■電力卸供給事業:1社

神鋼神戸発電株式会社

#### ■アルミ・銅関連事業:29社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼リードミック株式会社、  
サン・アルミニウム工業株式会社、神鋼ノース株式会社、  
神鋼メタルプロダクツ株式会社、  
コウベ プレシジョン テクノロジー センディリアン ベアヘッド、  
シンガポール コウベ プライベート リミテッド 他

#### ■機械関連事業:43社

株式会社神鋼環境ソリューション、コベルコ・コンプレッサ株式会社、  
神鋼造機株式会社、神鋼電機株式会社、  
株式会社アーステクニカ、  
コンプレホ シデルルヒコ デグアジャナ セーアー 他

#### ■建設機械関連事業:45社

コベルコ建機株式会社、コベルコクレーン株式会社 他

#### ■不動産関連事業:9社

神鋼不動産株式会社 他

#### ■電子材料・その他の事業:27社

株式会社コベルコ科研、神鋼JFE機器株式会社、  
コウベ スチール USA ホールディングス インコーポレーテッド、  
神鋼商事株式会社、ジェネシス・テクノロジー株式会社、  
日本メディカルマテリアル株式会社 他

(注) ※印は持分法適用会社であります。

### 取締役および監査役、執行役員

(平成19年6月26日現在)

取締役会長(代表取締役) 水越浩士  
取締役社長(代表取締役) 犬伏恭夫

#### ■本社

取締役副社長(代表取締役) 佐藤廣士	常務執行役員 吉田達樹	執行役員 泉 博二
取締役副社長(代表取締役) 小山敬治	常務執行役員 川田 豊	執行役員 沖田誠治
専務取締役 松谷高志	常務執行役員 藤原寛明	執行役員 関 勇一

#### ■鉄鋼部門

取締役副社長(代表取締役) ※賀屋知行	常務執行役員 小南孝教	執行役員 木村雅保
専務執行役員 大西功一	常務執行役員 山口育廣	執行役員 川崎博也
常務執行役員 村瀬敬一	常務執行役員 公文康進	執行役員 津村拓良
常務執行役員 阿部央道	執行役員 吉田裕信	

#### ■溶接カンパニー

専務取締役  
※藍田 勲  
執行役員  
粕谷 強

#### ■アルミ・銅カンパニー

専務取締役 ※中山裕之	常務執行役員 高橋 徹	常務執行役員 長井生一
専務執行役員 大城英夫	常務執行役員 下村良介	

#### ■機械エンジニアリングカンパニー

取締役副社長(代表取締役) ※小谷重遠	常務執行役員 田中 順
専務執行役員 重河和夫	常務執行役員 毛利修三

#### ■社外取締役

取締役 中野淳司  
取締役 土居征夫

(注) ※印は、鉄鋼部門長および各カンパニーのプレジデントであります。

監査役(常勤) 浅岡 徹	監査役(非常勤) 師田 卓
監査役(常勤) 大越年祝	監査役(非常勤) 金子崇輔

## 会社の概要

(平成19年3月31日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,333億1,324万8,065円
- 発行済株式総数 31億1,506万1,100株
- 株 主 数 254,468名
- 従 業 員 数 9,048名

## 事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜町二丁目10番26号  
☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号  
☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・  
新潟(新潟市)・北陸(富山市)・  
四国(高松市)・中国(広島市)・  
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海外事務所 ニューヨーク・デトロイト・シンガポール・  
北京・上海

(注)「海外事務所」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 <鉄鋼・溶接部門>加古川・神戸・高砂・  
藤沢・茨木・西条

<アルミ・銅部門>真岡・長府・大安

<機 械 部 門 >高砂・播磨

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 6月

基 準 日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日

中間 9月30日

(その他必要のあるときはあらかじめ公告します。)

公 告 方 法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)  
<http://www.kobelco.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

郵便物送付および電話照会先

〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎0120-094-777(通話料無料)

※住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および株式の相続手続に必要な届出用紙のご請求は、☎0120-684-479(通話料無料:24時間自動音声応答サービス)でも承ります。

### ●お知らせ

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社の事務取扱場所は、平成19年5月7日をもって、上記の場所に変更されました。

## 株主メモ

### ●単元未満株式の買増請求制度および買取請求制度のご案内

単元未満株式の買増請求制度と買取請求制度についてご案内いたします。

#### <買増請求制度について>

株式市場で売却できない1,000株未満の株式(単元未満株式)をご所有の場合、合わせて1,000株(1単元)にするのに必要な株式を当社から市場価格で買取ることができる制度です。

#### <買取請求制度について>

ご所有の単元未満株式を当社に対して売却することができる制度です。当社は、市場価格で買取いたします。

いずれの手続も、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にて承っております。手続の詳細、書類のご請求などは同行大阪証券代行部(☎0120-094-777)までお問い合わせください。

なお、証券保管振替制度をご利用されている場合(特定口座を利用されている場合など)は、お取引の証券会社にお申し出ください。

### ●配当金振込制度のご案内

ご所有の株式に対する配当金(中間配当金を含む)の受領方法には、郵便振替支払通知書により、郵便局窓口で受け取る方法のほかに、ご指定の銀行預金口座または郵便貯金口座への振込にて受け取る方法がございますが、より安全・確実な、銀行預金口座または郵便貯金口座への振込のご指定をおすすめいたします。

手続は、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にて承っております。同封の「配当金振込指定書」にご記入・ご押印のうえ、ご郵送下さい。手続の詳細、書類のご請求などは同行大阪証券代行部(☎0120-094-777)までお問い合わせください。

# KOBELCO

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

R70



古紙配合率70%再生紙と環境にやさしい大豆油インクを使用しています